

ソフトウェア品質保証部長の会

—同じ悩みをもつ部門長たちが交流, 情報発信をしています—

昨今、複雑化・多様化するソフトウェアにより、ソフトウェア品質保証部門が担う役割は重要性を増し、品質保証部門長の持つ悩みも大きくなってきました。このような背景を受けて、日科技連では、ソフトウェアの品質向上を目指した活動の一環として、2009年11月からソフトウェア品質保証部門の長による「ソフトウェア品質保証部長の会」を設立しました。今回は、その活動内容と、3月に実施した合宿での様子をご紹介します。

活動内容

月1回のペースでメンバーが集まり、製品分野や組織の形態、人数規模など様々な異なる現場における悩みや課題、取り組みを持ち寄り議論しています。活動の成果は、ソフトウェア品質シンポジウム2010で発表、情報発信を行い、多くの反響をいただきました。

現在、活動は2年目を迎え、メンバーは第1期、第2期を合わせて34名となりました。SQiPステアリング委員会が中心となって企画を行い、活動を推進しています。

参加のメリット

- 品質保証活動に関する部門長レベルの技術交流や情報交換ができます。
- 社外のネットワークづくりができます。
- 豪華な講師陣による講演会が予定されています。

様々な課題を共有した合宿

3月4日(金)～5日(土)、箱根・小涌園にて、「ソフトウェア品質保証部長の会」のメンバーによる合宿を行いました。“平日の夜だけの議論ではなく、合宿で集中的に議論しよう!”ということで23名が参加しました。

合宿は、講演とディスカッションの二部構成で、一部は「品質保証に求められるレビューの役割」をテーマに奈良先端科学技術大学院大学・森崎 修司先生にご講演いただき、二部では現場での課題を持ち寄りディスカッションを行いました。普段の仕事を離れ、異なる会社の部門長同士、深夜まで熱心な議論が繰り広げられました。



今後の活動予定

今後は、合宿であがったテーマについて各グループに分かれて議論の深掘りを進め、成果はソフトウェア品質シンポジウム2011(9月開催)、クオリティフォーラム2011(11月開催)などで情報を発信していきます。引き続き、「ソフトウェア品質部長の会」の活動にご注目ください。

なお、第3期の募集は11月に行う予定です。その他詳細はホームページにてご確認ください。

ソフトウェア品質保証部長の会
<http://www.juse.or.jp/software/91/>

【お問合せ先】 教育推進部 第二課
TEL : 03-5378-9813
FAX : 03-5378-9842
E-mail : sqip@juse.or.jp

関連事業のご案内

モダンソフトウェアテストアカデミー： プロフェッショナルコース

トップガンの人材育成のスタイルとして確立した、下流工程から上流工程の隠れた課題を研究する「Inverted Study」を用いて研修を行います。

申込み、詳細はHPをご覧ください。
<http://www.juse.or.jp/seminar/16060/>